



あおいパーク 各種教室受講者募集

問 あおいパーク ☎43-0511

申 各教室申込期間最終日17時までにあいち電子申請・届出システム又は事前申込書（あおいパークで入手）を直接

注意事項

- ・申し込み人数が少ない場合、開講しないことがあります。申し込み多数の場合は抽せんです。
- ・当せん者は、受講費を添えてあおいパークで手続きをしてください。期日までに受講費の支払いがない場合は、キャンセル扱いになります。
- ・受講費は全て材料費を含みます。材料費は変動する場合があります。

教室	とき	内容	申込期間	備考
手作りパン	7月20日(水)	全粒粉入山食パン チョコカスタード付き	6月1日(水)～8日(水)	時 9時30分～12時30分 講 生田香乃氏 定 12人 ¥ 1,800円
	8月17日(水)	手ごねでパンを作ろう！ ひとりでパン屋さんごっこ	7月6日(水)～13日(水)	時 9時30分～12時30分 講 生田香乃氏 定 各14人 ¥ 各1,700円
	9月21日(水)	シナモンロール	8月3日(水)～10日(水)	時 9時20分～12時 講 久保幸子氏 定 各15人 ¥ 各1,600円
お菓子	7月7日(水)	焼きプリンと抹茶わらびもち	6月2日(水)～9日(水)	時 10時～12時 講 近藤章子氏 定 各18人 ¥ 各3,800円
	9月1日(水)	メープルくるみマフィンと 月見だんご	6月23日(水)～30日(水)	
ガーデニング	7月28日(水)	涼感！ペラボンでギャザリング	6月9日(水)～16日(水)	
	9月22日(水)	初秋のナチュラル寄せ植え	7月7日(水)～14日(水)	

碧南の歴史へのいざない

問 文化財課内市史資料調査室
☎41-4566

No.96 おいしいものづくし(2) ～^{そうめん}驚塚素麺～

安城市和泉町では素麺生産がたけなわですが、碧南にも素麺産地としての歴史がありました。

明治10年発行の教科書「愛知県地理誌巻之下」に「碧海郡誌／物産八、…驚塚素麺」とあります。

「明治村史」には、驚塚の人が天明の飢饉（1784～1787）の際に彦根辺りで素麺作りを習ってきた、それを聞いた和泉の人が驚塚の人に就いて手法を覚えたのが和泉素麺の起源だと書かれています。その後、和泉村の庄屋都築孫助は文化5年（1808）6月23日に重原藩役所へ暑中見舞として素麺を呈上しました。このように、驚塚の素麺作りは和泉で発展し、棒手振（行商人）によって三河北部まで広まりました。

「大浜陣屋日記」（役所の記録）嘉永7年（1854）7月2日には「明三日、名古屋御勘定所向き並びに鳴海、横須賀村御陣屋詰へ、例年の通り暑中御見舞い状、かつ御音物素麺」とあり、恒例の贈り物になっていたことが読み取れます。10月には驚塚村から翌年分の素麺を買入れ、陣屋の土蔵へしまったと記されています。

こうして、江戸時代、驚塚湊に集まってくる三河の小麦が素麺という名物になったようです。

愛知県地理誌巻之下▷

